

小倉工業北辰会報

Vol. 88

https://www.hokusin.net/

発行：令和6年●月●日

転任のご挨拶



校長
伊藤 学

新緑の候、小倉工業高校北辰会の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

令和6年度の人事異動によりまして、4月1日付にて石津勝幸校長先生の後任として、遠賀高校より転任して参りました伊藤学と申します。

僭越ながら自己紹介をいたします。私は昭和61年に本校機械科を卒業後、製鐵所に就職しました。職場では上司や同僚にも恵まれ楽しく仕事をしておりましたが、工業の教員になりたいという気持ちが抑えられず、教職を目指し現在に至ります。

初出勤の日、桜の舞う篠崎門とおり、サイトウマコト先輩のオブジェを眺めているとき、生徒の元気な挨拶を受け、倉工に帰ってきたことを実感した次第です。念願の母校勤務を命ぜられたことは喜びであると同時に、諸先輩方が築き上げた125年の歴史と伝統を誇る本校での新しいスタートに身の引き締まる思いであります。

さて、本年度の学校教育目標を『Societyを切り拓く志高き自律心と思いやりの心をもった「質実剛健倉工生」の育成』といたしました。学校行事や「ものづくり」とおとして、校訓である「真理探究」「質実剛健」「勤労努力」の精神を育むことを基本理念としております。

内閣府によると現在の日本は転換点にあり、中でも高度の情報通信技術の活用により大きな期待を寄せているようです。情報通信の高度化は世界の大きな潮流の一つであり、その潮流に適切に

対応することが21世紀の社会の発展のために不可欠であると述べています。新たな社会を切り拓く源泉は、科学技術とりわけ情報通信技術であることは間違いありません。

従いまして、情報通信技術を活用した多様な学習機会の提供が、人材を育成するために重要です。すなわち教育のDX化により、教育手法や手段等を変革することが最重要課題としてとらえられています。

本校は本年4月16日付で文部科学省の「令和6年度高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」採択校となりました。この事業により、ドローンを活用した様々な教育活動等、工業高校ならではの情報通信技術を活用し人材の育成に弾みをつけることができそうです。

しかし教育のDX化は、最新の情報通信技術を導入すればよいということではありません。デジタル技術は手段であり、そこから新しいモデルの形成へとつなげることが、教育のDX化の目的だと言えます。言い換えると、デジタル機器やICTツール、システムを導入し、情報通信技術を活用することで、新しい教育体制を構築し、これまでになかった教育価値を創造していくことが大切です。

北辰会からは教育振興基金を筆頭に多くのOB諸氏より、工業技術のコンテストや部活動等あらゆる教育活動に対し、物心両面の御支援を頂いております。ことは感謝の念に堪えません。

今後とも微力ではありますが工業立国日本を支える人材を育成するため、全身全霊で校務に邁進して参ります。前任の石津校長先生と同様の御支援、御厚誼を賜りますようお願いいたします。とくに、北辰会の今後さらなる御発展を心より祈念し転任の御挨拶いたします。

令和6年度 北辰会総会

日時：2024年5月26日(日)

会費：¥6,000

受付▶14時30分より

総会▶15時30分より

懇親会▶17時より

【当番幹事】

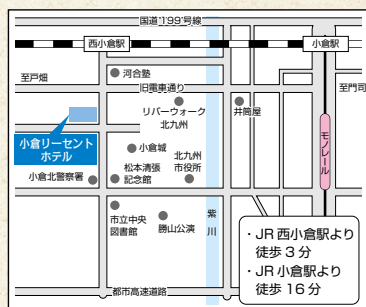
平成11年卒 平成12年卒 平成22年卒

場所▶小倉リーセントホテル

北九州市小倉北区大門 1-1-17

TEL：093-581-5673

FAX：093-582-1789



令和4年度より北辰会のご支援を受けて、本校のエレクトロニクス技術部と電子機械の生徒がジャパンマイコンカーラリーに出場させて頂いています。お陰様で令和4年度はBest of Basicクラスで優勝することが出来ました。令和5年度もご支援頂き、成績は、次のようになります。

（県大会） 13台出場
Advancedクラス…2名がベスト16
Basicクラス…準優勝・3位
Cameraクラス…3位
団体…3位

（九州大会） 10台出場
Advancedクラス…2名がベスト32
Basicクラス…優勝・準優勝
（全国大会） 2台出場
Advancedクラス…34位
Basicクラス…第4位

昨年度は、前年度全国優勝ということとで、新しい教育体制を構築し、これまでになかった教育価値を創造していくことが大切です。



果という形で返そうと大変頑張りました。特にBasicクラスでは、準決勝でコースアウトし4位という結果でしたが、予選で出したタイムはコースレコードとなり表彰をされ、本校ものづくりの技術力の高さを全国に発信することが出来ました。今年度は、昨年度逃したBasicクラス

ジャパンマイコンカーラリー2024
全国4位
エレクトロニクス技術部顧問 小柳 茂

創立記念式典・記念講演・OB講話開催



記念式典校長式辞

5月2日 晴天の中、令和6年度の創立記念式典・記念講演会が母校体育館で生徒全員が一堂に会した中で厳粛に開催されました。

コロナ禍

で一昨年まで3年間は式典・記念講演は百周年記念館講堂で生徒代表参加の形で行われ、生徒は教室から参加するリモート式での開催となり、昨年は体育館で4年ぶりに生徒全員が参加して記念式典が行われ、記念講演も行われました。今年は前述のとおり、生徒職員全員での式典・記念講演、合わせて各教室に分かれて卒業生が行うOB講話が5年ぶりに再開されました。

記念式典では、今年着任した伊藤学学校長が、本校創立以来125年の歴史と偉大な卒業生の足跡を紹介し、在校生に物事をチャレンジし、新しい歴史と伝統を目指してほしいと式辞を述べられました。続いて滝原裕明北辰会会長が、この3年間コロナの中で技術革新が加速的に進み、コロナ後がすでに始まり産業界は若い新しい発想ができる人を求めている。倉工での学びは益々重要となる。高校生活を充実して、先輩に続いてほしいと、激励の挨拶を行いました。

引き続き黒木誠PTA会長(平成7年電子機械科卒)が在校生への激励を祝辞として述べられ、生徒諸君の元気な



岩田高宏氏(昭60年電子科卒)



野口晃平氏(平19年電子科卒)

校歌の歌声で125年の区切りとなる創立記念式典を終えました。

記念講演会に移り、昭和60年電子科卒、(株)東芝からキオクシアに移り岩手工場製造部長として半導体の最前線で活躍されている岩田高宏先輩、平成19年電子科卒業、ホンダで活躍されている野口晃平先輩に講演頂きました。

岩田先輩からは、世界で話題になっている今日の半導体製造に関する様々な状況や各種半導体の動向などをお聞きすることが出来ました。半導体に興味を持ってもらうと面白い、また世界の動向にも関心をもってもらいたい広い視野で勉学に励んでほしいと、結ばれました。

野口先輩からは、二輪車に興味を持ちホンダを目指し就職したこと。入社後に自分自身がやりたいと思っていた二輪車の開発に直接携わることが出来、試験走行なども自分自身で行うことが出来、頑張っていることを話されました。そして、在校生へ自分自身の十数年間の仕事や生活を振り返って、困ったことなど実例を挙げながら克服していく過程などを挙げながら数々のアドバイスをされました。卒業後を楽しみに、未来に備えて学生生活を充実してほしいと、話されました。

記念講演では、技術を学ぶ生徒の皆さんが、最新の半導体技術や自動車技術の最先端の職場で活躍されている両先輩から貴重な話をお聞きすることが出来ました。

引き続き体育館では、各教室に分かれて行われるOB講話で講師を務めていただく先輩が体育館壇上に登壇。まず、特別ゲストの昭和29年卒の井本義孝先輩の紹介とご本人の

メッセージの披露があり、続いて、各分野で活躍されている昭和から平成卒業生の20名の先輩が紹介されました。休憩・移動をはさみ、校内20の教室に分散して卒業生のOB講話が開催されました。

母校卒業後かわわっている仕事の話を中心に、技術や生き方、苦労している点や楽しいこと、また趣味の話など、多岐にわたって在校生へのメッセージが伝えられました。

記念講演や教室での講話を聞いた多くの生徒たちからは、

「半導体の製造工程や酸化膜の作り方などをよりくわしく知る事が出来、電子回路の授業にもっと興味を持つことが出来ました。」

「理解がすごく深まり、半導体をもっと学んで半導体業界で活躍できるようにになりたいと思いました。」

「仕事のどこかに興味のあることを作る大切さを知りました。自分も興味のあることを作ってみたいのです。」

「何事もまずやってみよう」と、やらずに後悔するよりはやって後悔したほうがマシ」この言葉を胸に留めておき、今後の就職試験や社会において頑張って取り組んでいきたいと思っています。」

と、感動した感想が寄せられ、在校生にとって素晴らしい会となりました。

OB講話の講師の皆さんの紹介および講話風景はホームページに掲載しています。



OB講話講師紹介

故 赤尾正洋顧問に母校及び野球部から感謝状贈呈

去る2月22日、昨春秋に亡くなられた故赤尾正洋顧問の、長年の母校へのご支援及び野球部への卒業以来のご支援、激励に感謝して、母校及び野球部から感謝状が贈呈されました。

当日、赤尾先輩のご子息である赤尾直哉氏(株KTL社長)にお越しいただき、校長室でセレモニーが行われました。

野球部後援会長、体育後援会長、同窓会北辰会会長など歴任され多大な功績を残され亡くなられた故赤尾顧問への思いを伝えるため、石津勝幸校長より、長年の物心両面にわたるご支援に感謝する感謝状がご遺族に渡されました。



その後、野球部の3年生部員及びキャプテン、野球部監督・顧問の先生が列席し、野球部現役キャプテンより、故赤尾先輩が卒業された昭和26年から現在の野球部までの部員を代表してご子息に感謝状が手渡されました。

感謝状では、卒業以来76年間にわたる叱咤激励、また、野球部のグラウンド・ベンチなど環境整備のご支援、試合のたびに甲子園を目指す野球部への心の支えとなる応援をいただいた感謝の気持ち、そして、若い時代の故赤尾顧問のエピソードを交えた暖かな感謝状が手渡されました。

贈呈後には仕事よりも母校のことを優先する先輩のエピソードをご子息からお聞きし参加者一同目を熱くしながら母校のさらなる発展を故赤尾顧問に誓い無事終えることが出来ました。



野見山誠二氏 母校に世界最速 インクジェットプリンター (理想科学工業(株)オルフィス) 寄贈

連休明けの5月7日、野見山誠二氏(昭和36年電気科卒)からインクジェットプリンターオルフィスGL(高速度で印刷できるカラープリンター)が寄贈され、母校の印刷室に設置されました。

このプリンターは、世界最速でA4片面世界最速165枚/分の性能を持つプリンターで、カラー印刷が出来、製本まで行える優れた性能を備えています。

毎日の授業に印刷物を準備しなければならぬ先生方にとっては強い味方となります。工業高校ではカラー印刷することで物の形状などわかりやすく生徒に伝えられ、効果的な指導を行います。

寄贈された野見山先輩は理想科学工業(株)に創業時期から勤められ開発から経営まであらゆる分野を担当され、長く同社役員として活躍されました。皆さんがご存じのプリントゴッコの開発者の一人でもあります。輪転機のように高速で印刷できるカラーの印刷機を目標に開発されたのがオルフィスです。



野見山先輩は現役時代、このオルフィス開発の責任者



左から校長、会長、事務局長

として活躍されました。そして、16年前本校に取りましては第一号機となるオルフィスを寄贈いただきました。そして、9年前に第二号機を寄贈いただきました。今回が第三号機となります。これまでご寄贈いただいたオルフィスは校内で大活躍しており、一号機、二号機共に耐用印刷枚数を大幅にオーバーしてしまいうほど利用されています。非常に高額のカラーの高速印刷機はまだどの学校にも配置されていないと考えられ、本校はとても恵まれています。

学校では、今回ご寄贈頂いた最新鋭の高速インクジェットプリンター、オルフィスを日々の教育活動に大いに活用して成果を上げ、野見山先輩の意思にお応えしたいと考えています。

学 校 だ よ り

部活動成績

●ラグビー部

10人制新人大会県予選 9位

15人制新人大会県予選 2回戦敗退(門司学園高校と合同チームで参加)
7人制福岡大会 1次リーグ敗退(3位)

●サッカー部

令和6年度 高等学校総合体育大会サッカー競技北部ブロック予選 第2位

●ソフトテニス部

令和6年度福岡県高等学校総合体育大会ソフトテニス選手権大会北部・筑豊ブロック予選 機械科3 横山陽輝・電子科3 高野由進 ペア

●陸上部

第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会福岡県北部ブロック予選会

400m	第3位	電子科3 松川悠士
400mH	第7位	電子科3 大賀祥太郎
4×400mR	第5位	機械科2 迫田修樹
		機械科2 塩川新
		電子機械科2 富浦大貴
		電子科3 大賀祥太郎
八種競技	第3位	機械科2 塩川新



●空手道部

福岡県高等学校総合体育大会空手道選手権大会
北部・筑豊ブロック予選会(男子)

個人	形	優勝	電気科2 坂口歩武
		第2位	電子機械科3 澤田将光
個人	組手	第2位	電気科1-1 岩野次郎長
団体	組手	優勝	電気科3 永井世音
			電子機械科3 佐藤心一
			電気科2 坂口歩武
			電気科2 吉村賢人
			電気科2 石上遥一
			電気科1-1 岩野次郎長
			機械科1-1 木村凜之助

(女子)

個人	形	第2位	電子機械科2 大井響
		第3位	工業化学科2 師岡未夢
個人	組手	第2位	電子機械科2 大井響
団体	組手	第2位	電子機械科3 鶴くるみ
			工業化学科3 瓜生彩乃
			電子機械科2 大井響
			電子科2 白土連宝
			工業化学科2 師岡未夢



●柔道部

令和6年度福岡県高等学校総合体育大会柔道選手権大会北部ブロック予選会
第5位 工業化学科3 齊城祐希

●エレクトロニクス部

ジャパンマイコンカーラリー2024 BasicClass 電子科2 佐藤希来
予選1位決勝トーナメント進出 全国4位

●野球部

第154回九州地区高校野球福岡北部大会
2回戦 小倉工 5-7 鞍手
第52回北九州市長杯争奪高校野球
1回戦 小倉工 13-9 北九州
2回戦 小倉工 4-1 北九州市立
3回戦 小倉工 0-10 戸畑



お知らせ

定期戦

福岡工業-小倉工業
5月25日(土)
福岡工業グラウンド

北九州市役所に
本校生徒のカウン
トダウンボードが
設置されました。



電子科3年生が製作したカウンタダウンボードを北九州市役所に設置

令和5年10月20日(金)より本校電子科3年課題研究で製作したカウンタダウンボードが北九州市役所に設置されました。
カウンタダウンボードとは、令和6年度全国高等学校総合体育大会開催に向け、多くの県民に開催に向けた意識付けを行うとともに開催気運の醸成を図ることを目的とし、大会を「支える」高校生活動の一環として、開催までの残日数を表示するものです。是非お立ち寄りいただければと思います。
令和6年度のインターハイでは一人でも多くの生徒が活躍できることを祈ります。

転出のご挨拶



第32代校長
石津 勝幸

初夏の候、小倉工業高校北辰会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この3月末をもちまして役職定年となる中、令和6年度の人事異動によりまして、田川科学技術高校へ初任者指導教員として転出となり、白萩の丘を後にいたしました。校長として令和5年4月1日に赴任いたしましたから、僅か1年間はありましたが、筆原裕明会長を始め北辰会の皆様には、格別のお引き立てを賜りましたことに對しまして、衷心より厚くお礼申し上げます。

振り返れば、教頭として勤務いたしました平成28年からの2年間で、6年振り2度目の小倉工業高校並びに北辰会とのご縁は、今年度創立125周年を迎えます栄えある歴史と伝統を前に、校長として光栄であるとともに「真理探究」「質実剛健」「勤労努力」の校訓のもと、日本一という使命を背負う重責に、以前にも増して、緊陣一番する思いでありました。

新型コロナウイルスが、昨年5月に5類に引き下げられて以降は、教育活動に制限・制約を課さない学校運営に腐心して参りました。お陰をもちまして、希望に燃ゆる健男児は、ここかしこで学びを深めながら輝きを放ち、成長を遂げていきました。とりわけ、日本一の体育大会を通しての誇りと充実感を与えてくれました。一方で、力及ばないこともあったことと思いますが、遠賀高校より着任された後任の伊藤学校長先生のもと、質実剛健倉工生を、将来、ここ北九州の活天地から、先輩方の後に続き日本の産業界をリードする人材、世界に羽ばたく有為な人材として輩出されるものと確信しております。

私、今後は、田川科学技術高校の発展のため、大変微力ではございますが、一意専心その職責を全うする所存でございます。どうぞ今後とも、変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、北辰会の今後益々のご発展と、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げますとともに、本校が、今後100年、200年、幾久しく発展し続けまことを祈念し、退任にあたりお礼のご挨拶とさせていただきます。

教職員の異動

【転出】

▽石津 勝幸(校長)	退職 田川科学技術高校
▽宮崎 康(事務長)	八幡高校参事事務長
▽橋本 典和(主任教諭)	京都高校(定)教頭
▽亀井佐知子(教諭)	門司大翔館高校
▽十時 英世(教諭)	退職
▽上原 咲良(教諭)	博多青松高校
▽永松 保(教諭)	戸畑工業高校
▽上野 純一(教諭(再任用))	退職
▽島元 晴治(教諭)	古賀特支
▽松野 真人(常勤講師)	八女工業高校
▽徳永久美子(養護教諭)	ありあけ新世高校
▽長戸 康勝(常勤講師)	光陵高校
▽中村 慎次(常勤講師)	退職
▽末松留里子(事務主査)	退職
▽白谷 一紗(事務主事)	北筑後教育事務所
▽菅野 博文(環境整備班主技能(用務員))	小倉南高校

【転入】

▽伊藤 学(校長)	遠賀高校
▽中野 宏重(参事事務長)	小倉東高校事務長
▽牧 千幸(教諭)	戸畑工業高校
▽原田 敦子(教諭)	八幡南高校
▽徳久 竜馬(常勤講師)	新卒(西工大)
▽山岸 孝二(教諭)	戸畑工業高校
▽小川 恭平(教諭)	荏田工業高校
▽藤井 明人(教諭(再任用))	田川科学技術高校
▽島筒 修治(教諭)	嘉穂総合高校
▽水落 愛絵(養護教諭)	新採(柳川市立昭代第二小学校)
▽平盛 裕子(教諭)	新採(荏田工業高校)
▽前田孝一郎(実習助手)	新採(小倉工業高校)
▽安部 朋子(事務(図書司書))	社会教育課
▽嘉村 浩一(航務主任主事)	社会教育課
▽飯野 浩一(環境整備班技能(用務員))	筑豊高校

デジタル変革(DX)時代の母校活動の支援を！

コロナ禍でデジタル化が急速に進む中、教育環境も大きく変わりました。特に工業高校においてはデジタル技術教育の環境を整えることが急務になっており、日々の教育活動も大きく変わってきています。



ドローン学習をする生徒たち

部活動では、母校後輩が教育振興基金の支援で、マイコンカーラリー2023で全国優勝、同2024で全国4位と全国を代表する戦いをしています。昨年の体育大会では競技の中にドローン競技を導入することが出来、大変好評でした。また、eスポーツの環境整備が進められ生徒の活動がスタートしています。更に、母校先輩のデジタルエンジニア有志の専門知識と技術力を生かしたAIを含むソフト・ハードのデジタル技術を学ぶ放課後学習支援のプランの検討が先生方と進められています。今年中には生徒の募集が始まる予定です。



生徒製作のAIロボット

また、母校は今年度文部科学省の高等学校DXハイスクール校に採択され、工業教育の「デジタル変革」(デジタル技術を浸透させることでより良いものへと変革する。また、既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらしもの)にチャレンジすることになりました。

北辰会では、このような母校の教育活動を支援し、生徒の活動を応援し続けたいと思っています。

北辰会年会費と教育振興基金納入のお願い

北辰会報紙面で紹介させていただいていますように教育環境が大きく変わる中で母校への支援がこれまでに以上に重要になっていきます。北辰会活動を継続し、母校への応援を続けるには会員諸氏のご支援が欠かせません。年会費の納入と教育振興基金へのご理解とご支援をお願いいたします。

各支部の行事予定

- 5月26日(日) 令和6年度北辰会総会
於 小倉リーセントホテル
- 8月下旬 部活動がんばろう会
場所未定
- 10月15日(火)
第31回北辰会オープンゴルフ大会
勝山御所カントリークラブ

- 関東支部総会 11月16日(土)
- 中部支部 未定
- 近畿支部 未定
- 福岡支部総会 10月26日(土)
- 若戸遠賀支部総会 令和7年3月16日(日) 12:00～
黒崎はつしろ
- 門司下関支部 未定
- 豊前築上支部 未定
- 行橋京都支部総会 令和7年5月予定
- 小倉南支部
ビアパーティー 7月27日(土)
総会 11月9日(土)
- 小倉北支部総会 未定

行事予定 (令和6年度)